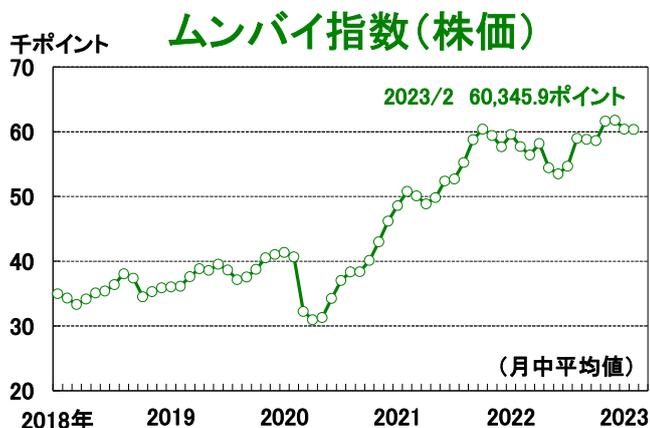
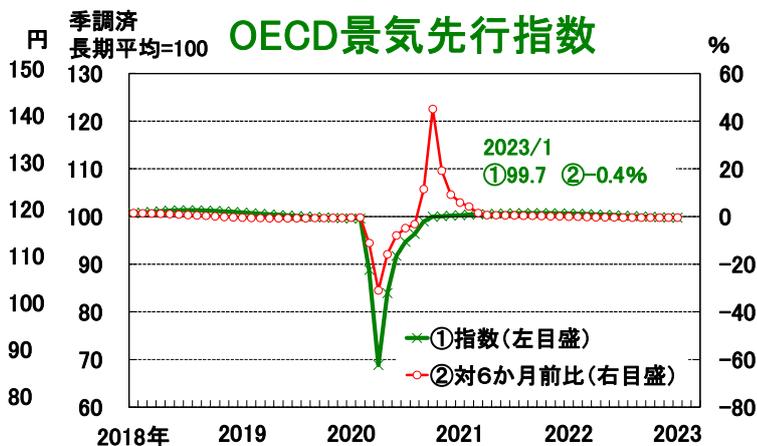
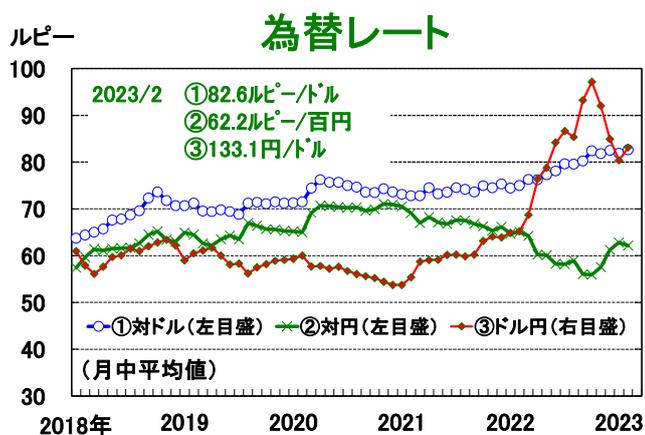
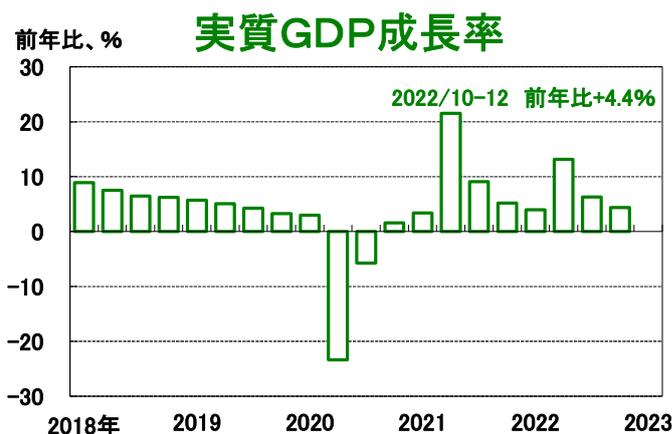
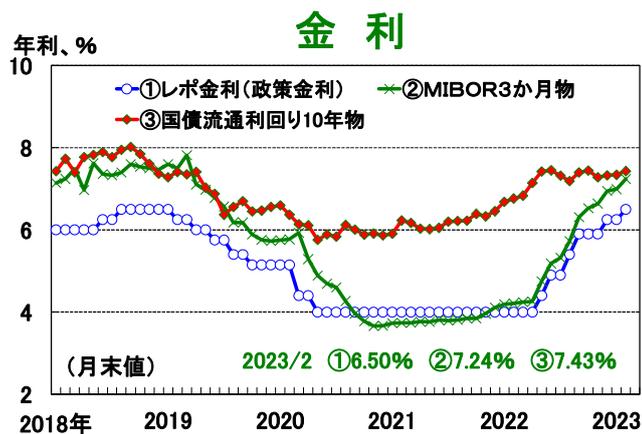


グラフで見るインド経済 2023年3月号(No. 159)

2022年10～12月期のインドの実質GDP(国内総生産)は前年比+4.4%と前期(同+6.3%)に比べて成長率が低下した。内訳をみると、個人消費が減速し、総固定資本形成と輸出も弱含んだ。もっとも、直近の月次指標をみると、一部に持ち直しの動きがみられる。23年1月は、輸出が前年比-6.6%と減少したものの、コア産業生産指数は10か月ぶりの高水準になった。また、同月の新車販売台数は前年比+17.2%と再び2桁増となった。人気の多目的自動車(UV)が同+27.7%と増勢を拡大し、一般乗用車も同+8.1%と増加に転じた。

指標	景気全般	輸出	新車販売	コア産業生産	製造業PMI
判断結果	→	↓	→	↑	→

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

鉱工業生産指数



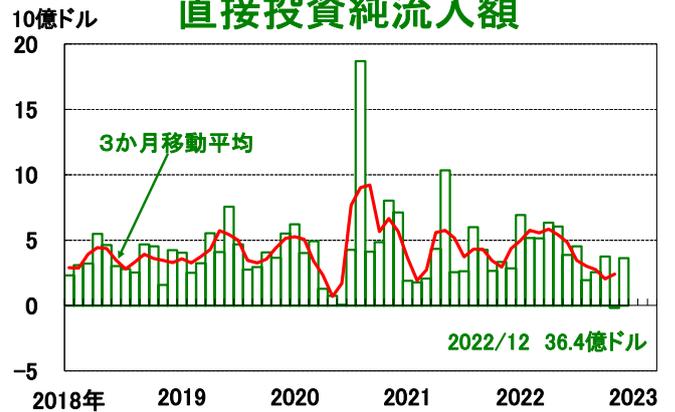
新車販売台数(乗用車)



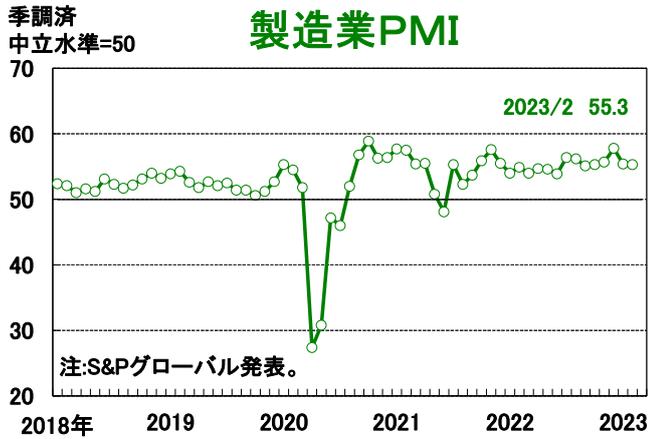
コア産業生産指数



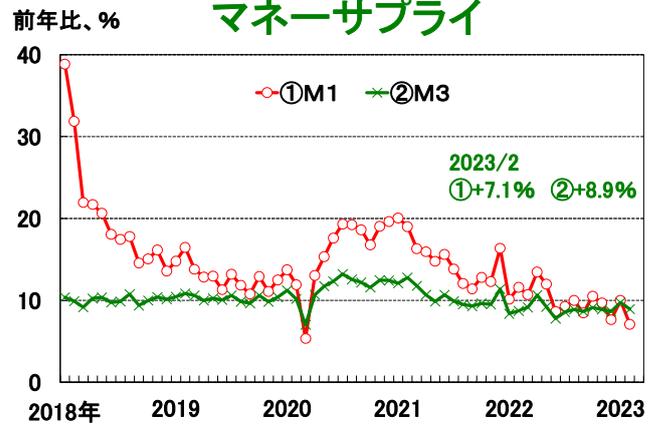
直接投資純流入額



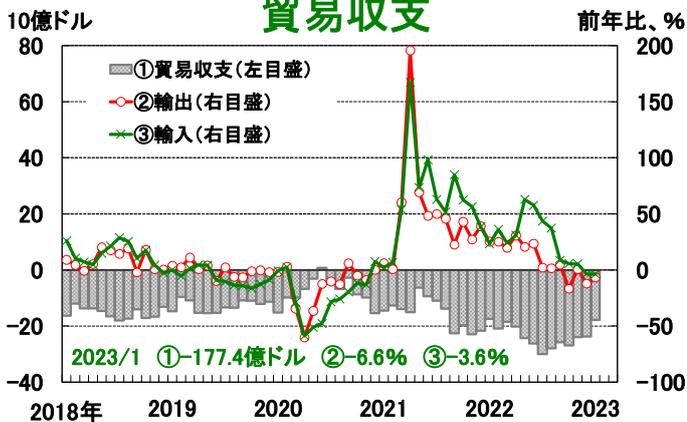
製造業PMI



マネーサプライ



貿易収支



物価指数



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。